

## 団体・組織の概要

太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	NPO 法人矢作川と三河武士フォーラム		
代表者	鬼頭俊雄	担当者	鬼頭淳子
所在地	〒471-0805 愛知県豊田市美里 4-2-23 TEL: 0565-88-8111 FAX: 0565-88-8112 E-mail: emexpo21@hm7.aitai.ne.jp		
設立の経緯 /沿革	2000年 竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動を開始 2001年 NPO 法人矢作川と三河武士フォーラムを設立 2005年 愛知万博に活動紹介・21世紀は...地球がくれた宝物“炭と微生物”で<地球環境は救われる>出店参加 2008年 特許出願番号2006-215548~51平成18年8月8日 申請受理認可 2009年 小中学校内トイレの悪臭とプールの清掃保全改善対策施工指導事業 2010年 出願番号2008-200158平成20年8月29日 申請が受理 生微生物の発見と発酵水素の生産<申請名称>『水素の生産方法』		
団体の目的 /事業概要	矢作川流域の竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動と伝統文化の継承及び発表会を行う。水源桜まつ&矢作川舟遊び・新春親子3世代ふれあい凧揚げ大会・ジュニアふれあいハートフェスタ・小中学校内トイレの悪臭とプールの清掃保全改善対策施工指導事業などを開催。		
功・事業実績 (企業の場合は環境に関する実績を記入)	矢作川流域の竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動によりヘドロ・悪臭が解消され魚など水中生物が蘇る。小中学校内トイレの悪臭とプールの清掃保全改善対策施工指導事業を行い小中学校内トイレの悪臭とプールの清掃が解消された。農作物の生産にこの素材を散布することで発育を促し品質の良い作物と収量を上げた。 水源桜まつ・矢作川舟遊びを開催することで流域住民の交流を高め伝統文化の継承に貢献。		
ホームページ	<a href="http://www.hm7.aitai.ne.jp/~emexpo21/">http://www.hm7.aitai.ne.jp/~emexpo21/</a>		
設立年月	1992年 3月	*認証年月日(法人団体のみ)2001年 2月 1日	
資本金/基本財産 (企業・財団)	0 円	活動事業費/ 売上高(H20)	100000000円
組織	スタッフ/職員数	30 名(内専従	15 名)

政策のテーマ

政策の分野  
 空気・水・土の保全

団体名：NPO 法人矢作川と三河武士フォーラム

担当者名：鬼頭俊雄

政策の手段  
 ・ 予算・資金措置

・ キーワード					
---------	--	--	--	--	--

政策の目的

荒れ果てた竹林を整備して炭化する...地球温暖化防止にCO2削減になるのでは、炭を微粉末にすれば活性炭・吸着効果は飛躍的に拡大する。竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動。

小中学校内・各家庭のトイレ・家庭内の悪臭とプールの清掃保全改善対策施工指導。

背景および現状の問題点

各地域の現状は、竹藪は荒れ放題で資材利用はほとんど利用されていません。過疎地では高齢者対策問題、河川や湖沼の水質問題、家庭内では臭いの悪臭問題、農作物では土壌及び亜硝酸問題、工事現場では移動トイレのアンモニア・悪臭問題など、これらの諸問題を竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動素材として、ヘドロ・悪臭対策に最適な効果を表します。

政策の概要

全国の荒れ果てた竹林を整備して炭化の為に炭焼きを行います...環境整備に繋がります。過疎地対策・雇用に貢献...地球温暖化防止の為にCO2削減になります。炭を微粉末に加工し土着有用微生物と併用することで水質及び自然環境の浄化となり、ヘドロの分解、アンモニアやメタンの発生を抑え悪臭を除去します。

竹という無用の素材を有効的に環境改善に再利用することは、資源の乏しいわが国では非常に価値観の高い考えではないでしょうか。竹は1年で生育し2年後には炭に加工できます。北海道いがいの日本国で荒れ果てた竹藪の整備とその竹で造る竹炭と土着有用微生物による水質及び自然環境の浄化活動を推進しましょう。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

全国のNPO法人活動と高齢者・住民に助成制度を施行しヘドロ・悪臭を解消し有機物過剰社会を是正、自然環境の循環をスムーズな形態に全国民で取り戻す。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

現在は有りません

政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

全国の荒れ果てた竹藪が整備され家庭雑排水や自然汚染で発生した有機物過剰状態を自然が蘇った環境に再生できる。山間地や過疎地に炭焼きを普及することで働く場を提供でき高齢者問題の生きがいに連携できる。家庭内悪臭や小中学校内トイレの悪臭・移動トイレの悪臭などの全面解決。農産物のアンモニア・亜硝酸を分解または発生し難いことで問題の解決につながる。

その他・特記事項

2008年 特許庁の発明申請＜申請名称＞『有機被処理物の腐敗、発酵処理方法及びそれに用いられる腐敗、発酵処理剤』特許出願番号 2006-215548～51 平成18年8月8日 申請が受理され、8月認可

2010年 出願番号2008-200158平成20年8月29日 申請が受理 生微生物の発見と発酵水素の生産＜申請名称＞『水素の生産方法』